

平成30年度 ロシア語講座が始まりました

平成30年4月～9月(予定)

ズドラーストヴィチェ!(こんにちは)

今年も、スペトラーナ先生と、当協会専門アドバイザーのヴィクトル先生によるロシア語講座が始まりました。

入門コースでは、ロシア語が全くはじめての方が熱心にアルファベットや発音の基礎を学んでいます。また、初級では基本的な日常会話と文法を、中級では発展的な日常会話を学習しています。難しそうなイメージのあるロシア語ですが、先生方によると発音も日本語に近く、文字数も英語と大差がないので、覚えやすい言語であるとのこと。

授業は各級とも週1回、半年間で約20回を予定しており、講座を通してロシア文化への理解も深めてほしいと思います。

講師の紹介



▲スペトラーナ先生



▲ヴィクトル先生

経済産業省 地域未来牽引企業

当協会会員より9社選定される

経済産業省により、地域経済牽引事業の担い手の候補となる地域の中核企業として「地域未来牽引企業」が全国で2,148社選定されました。

その中で当協会会員企業より下記の9社(平成30年3月末現在)が選定されましたのでご報告します。

- 秋田精工株式会社
- 有限会社佐藤養助商店
- 株式会社三栄機械
- 千代田興業株式会社
- ナガイ白衣工業株式会社
- 能代運輸株式会社
- 二ツ井パネル株式会社
- 北光金属工業株式会社
- 由利工業株式会社

今回選定された「地域未来牽引企業」は、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力強く牽引する事業を更に積極的に展開されることが期待される方々です。

「地域未来牽引企業」の詳細については下記、経済産業省ホームページをご覧ください。

<http://www.meti.go.jp/press/2017/12/20171222003/20171222003.html>

平成29年度 中国語講座

平成29年10月から
平成30年3月まで

当協会では、貿易普及啓発事業の一環として、昨年下半年に中国語講座を開講しました。

ネイティブの崔成岩先生による、初歩的な中国語でコミュニケーションができるようになることを目標にした講座を、毎週水曜、全20回実施しました。

受講生からは、入門レベルの時から中国語を話す楽しさを知ることが出来たという感想がありました。また日本語も堪能な先生からは、中国

語の発音や文法はむろん、現地の季節や地域の話も習い、実りある授業になりました。



▲平成29年度中国語講座の様子

あきた海外展開支援ネットワークポータルサイトをご活用ください

【あきた海外展開支援ネットワークとは】

海外展開を実施している、あるいは今後予定している企業を、県市町村、貿易支援機関、金融機関、商工団体などの連携によりサポートしています。

あきた海外展開支援ネットワークポータルサイト

ではネットワーク構成機関の最新の支援情報や、県内企業の先行事例などを紹介しています。どうぞご覧ください。

URL: <http://www.akita-kaigaitenkai.jp/>



あなたの貿易ビジネスをサポート!

ATPA 一般社団法人 秋田県貿易促進協会

秋田県秋田市旭北錦町1番47号

秋田県商工会館5階

電話: 018(896)7366 / FAX: 018(896)7367

Email: info@a-trade.or.jp

ホームページ: <http://a-trade.or.jp/>



一般社団法人
秋田県貿易促進協会
Akita Trade Promotion Association

Newsletter

第44号

2018年4月発行

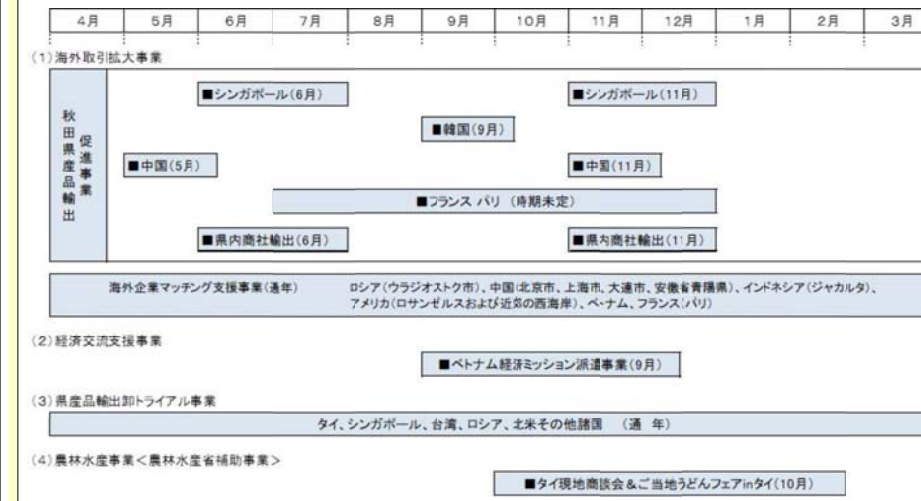
平成29年度 第2回理事会開催

3月19日、理事16名、監事2名出席 全員一致で承認されました。
のもと、理事会を開催し、平成30年 冒頭、齊藤会長は平成29年度の海
度事業計画・予算(案)について協議、 外事業取り組み事例を紹介すると

もに新年度事業への意気込みを述べ、改めて理事、監事への協力を要請しました。

なお、平成30年度定時総会の日程も決まり、今後開催に向けた準備を進めることとなります。

平成30年度 貿易拡大促進事業(案) ※平成30年4月現在



韓国事業の実施 観光物産商談会 in ソウル 韓国バイヤー招聘

1月30日から2月2日の日程で韓国ソウルを訪問し、秋田県、青森県、岩手県、北海道、ならびに北東北三県・北海道ソウル事務所が主体となり実施した「観光物産商談会 in ソウル」に参加しました。県内からは「王様の夢枕」シリーズを製造しているBeech(株)(八峰町)、秋田県のお土産品を幅広く扱っている(株)フルール(秋田市)の2社が参加し、韓国企業計22社と商談を行いました。

や現地商業施設の視察などを行いました。とくに仁川空港にある大韓航空の通関施設や倉庫は、通常は立ち入る事ができないため、大変貴重な経験となりました。



▲ソウルでの商談会(ソウルプラザホテル)



▲大韓航空倉庫を視察(仁川空港)

商談会は指定されたタイムテーブルに沿って行なわれましたが、空き時間になると飛び込みで商談を希望する熱心な企業がブースに訪れ、途切れることがありませんでした。

滞在中は商談会のほか、ジェットソウルによる韓国の消費者動向・商慣習セミナーの受講、仁川空港の保税区域

2月21日からは、秋田県、秋田県観光連盟、ならびに北東北三県・北海道ソウル事務所と連携し、ソウルでの商

平成30年度 定時総会のご案内

平成30年度定時総会の開催を下記のとおり予定しています。ご多忙な時期とは存じますが、何卒ご出席くださいますようお願いいたします。

開催日 平成30年6月22日(金)

会場 秋田ビューホテル

(1) 16:30 定時総会

(2) 18:00 懇親会

※詳細は後日ご案内します

談会にも参加した韓国の食品輸入業者「ユナイテッドビジョン」と、韓国で今、最もホットな食品ECである「マーケットカーリー」からバイヤーを秋田県に招聘しました。

滞在中は県内企業との商談のほか、秋田県の特産品や商業施設、観光施設等を紹介し、秋田県の魅力を伝えました。来県したバイヤーは今回の訪問で稲庭うどん、きりたんぼ、ハタハタ、いぶりがっこ、味噌・醤油など秋田ならではの食品・食材に関心を持ったとのことでした。

商談会やバイヤー招聘で商談した韓国企業とは、ソウル事務所の協力のもと引き続き連絡を取っており、参加者の取引拡大に向けて、商談や商品提案を続けています。



▲県内企業への訪問(榊無限堂)

ジャパンブランド 海外販路開拓事業

フランス・パリ川連漆器絵付け体験ワークショップ開催

ジャパンブランド事業の一環として、秋田県漆器工業協同組合が「川連漆器ワークショップ」をパリで開催しました。昨年11月に現地の寿司店で実施した川連漆器の「試作品お披露目会」で使用した漆器のその後の使用感や改善要望の聞き取りと試作品の回収を兼ねて、1月23日から29日までの日程でパリに出張しました。

出張には、漆器組合からワークショップの講師役の職人さん2名に、協会アドバイザー、職員が同行し、ワークショップの事前準備や本番の実施、現地寿司店での聞き取り等に加えて、現地の流

通状況を知るためスーパー等の訪問を行い、漆器に関連する商品の販売動向等の把握に努めました。

ワークショップは、日本文化の最大の発信拠点である「パリ日本文化会館」で1月27日土曜日の午後2回に分けて実施しました。1回当たり20名の定員がいずれも満員になる盛況でした。秋田県庁の事業やジャパンブランド事業などで、ここ数年何らかの形で「川連漆器ワークショップ」をパリで実施していることなどから、知名度が少しずつ上がっている手応えを感じました。

ワークショップは、「川連漆器の絵

付け体験」を題材に講師のわかりやすい説明と実演によってスムーズに進行して、受講者の皆さんも大満足でした。

今回のワークショップでは、受講者の8割以上がフランス人で、伝統文化に対する関心の高さを再認識しました。より進んだコースの開講を求める方も多く、地道な活動としてのワークショップの効用は大きいと感じました。一方、ワークショップ単体での実施は費用面で課題がありますので、今回のように他のイベント等と合わせて実施するなどの工夫も必要だと痛感した出張でした。



▲川連漆器ワークショップ(パリ日本文化会館)



▲講師の説明を熱心に聞くパリの受講者

秋田市受託事業

クアラルンプール秋田フェア開催

1月12日から15日の4日間、秋田市からの受託事業としてマレーシア・クアラルンプール「十九代目鈴木商店パブリカ店」において秋田フェアを開催しました。

会場となった鈴木商店は、日本食品の専門店です。通常の品揃えは日本のお米とお酒がメインで店舗内にはバーカウンターがあり、日本酒の飲み比べなども楽しめる作りになっています。同店での秋田フェア開催は今回で2度目となります。

すでにあきたこまちは現地で通常販売されていますが、フェアではあきたこまちのほか、舞茸の佃煮、ねぎ味噌しじみスープなどご飯にあう食品を中心に10品目を陳列し、試食提供による販促活動を行ないました。会場となった店舗の顧客は多くが中国系ですが、

立地エリアも海外からクアラルンプールに赴任してきている方が多いエリアでもあるため現地在住の日本人のお客様も多く来店されました。そのため今回紹介した商品もほぼ抵抗なく受入れてもらえました。ミスあきたこまちにご協力いただいた店頭PRも大変好評でした。あきたこまちの現地での販売促進と、新たな秋田産品の販路拡大に繋がるように今後も活動していきます。

滞在中は市場調査や企業訪問等を合わせて行いました。訪問した日本料理店「厨ジャパニーズレストラン」はクアラルンプールの中でも富裕層が多く住むエリアの近くにあり、中上層の顧客が多いお店です。ここでは秋田県産の米や枝豆などの農産物や日本酒を紹介しました。日本酒については、爛を



▲秋田フェアの様子(十九代目鈴木商店)



▲厨ジャパニーズレストランへの訪問

爛でもおいしく飲めるものを求めているとのことでした。

農林水産省補助事業

シンガポール「秋田・香川うどんフェア」開催



▲シンガポールでのうどんフェアの様子(DON DON DONKI)

2月2日から2月11日の10日間、DON DON DONKI(ドンドンドンキ)オーチャードセントラル店において、秋田県稲庭

うどんと讃岐うどんの産地間連携による「うどんフェア」を開催しました。

シンガポールでの開催は昨年(2017年)に続き2回目、今回の開催場所はドン・キホーテグループが昨年12月1日シンガポール1号店としてオープンした東南アジア仕様の店舗で、ほぼすべての商品をメイドインジャパンもしくは日本市場向けの商品でラインナップする「ジャ

パンブランド・スペシャリティストア」をコンセプトとした店づくりになっています。

オープンから2か月余り、まだまだ新規開店の勢いは衰えず、また24時間営業でもあることから地下鉄終電の24時頃まではお客様が途切れない状況が続き、お店は多くの人で賑わっています。

シンガポールは麺自体をよく食べる地域であることから、うどんの試食提案にとっても興味を示し、両産地のうど

んを食べ比べセレクトできるフェアは連日大盛況でした。

稲庭うどんは、「コシの強さ」「のどごしの良さ」に関心を覚え、総じてどの年代にも人気があり、タレも「醤油ダレ」「胡麻ダレ」ともに好評でした。「胡麻ダレ」についてはドレッシングとして馴染みがあることから、サラダに使用しても良いのか?という問合せも受けるなど、汎用性の高さも確認できました。

讃岐うどんは、特徴であるコシが強いモチモチとした食感が幅広い年齢層に受け、温かいうどんの試食であったことから、「麺つゆ」は出汁の風味がはっきりしたものより、甘味のある薄い感じのものを好む傾向が見受けられました。

今回のフェアでは、稲庭うどん・讃岐うどん両者の産地特有のこだわり製法やハンドメイドの価値・魅力を存分に発信することができたと思われま



▲大盛況となったフェア会場

海外市場調査

ベトナム・ハノイ

3月6日から9日、経済成長が著しいベトナム(ハノイ)において、秋田県企業が海外販路開拓・拡大していくための市場調査を、(株)英明工務店、オフィスチャイカ参加のもと実施しました。

ハノイ訪問中は、ジェトロハノイ事務所でベトナムの経済動向と投資環境についてブリーフィングを受けました。また、日本企業の進出を支

援しているMAGIN GAM CO.,LTDや、世界各地に拠点を有するFCGグループのFair Consulting Vietnamを表敬訪問し、県内企業の進出の可能性を探りました。更に、ハノイ2018ものづくり商談会を視察し、既進出企業や人材派遣先の関連情報入手に努めました。

勤勉な若い労働力を持ち、親日的なベトナムに秋田をいかに売り込むかを前向きに考え、モノ・カネ・ヒト・情報の相互交流により秋田県企業の海外展開がスムーズに行えるよ

う、積極的に支援していきたいと思



▲ジェトロハノイ事務所でのブリーフィング